

# OGC

オージーシー

問:エーモン工業 ☎0790-22-6262  
<https://www.amon.jp>

## コントロールボックス

本体サイズ W250×H215×D90mm  
出力 AC100V×2、USB TYPE A×2、  
USB TYPE C×1、DC12V×2  
合計出力 462W  
価格 オープン(実勢価格:3万円前後)



## 様々なシーンで活躍する新発想のポータブル電源

ルマとアウトドアをつなぐ、機能的ギアの開発をコンセプトに誕生したエーモン工業プロデュースの「OGC」。他にはない独自のアイデアを詰め込み誕生したのが、屋外での電源供給に役立つコントロールボックスだ。

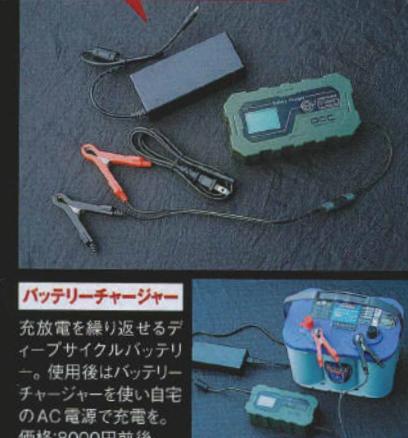
既存のポータブル電源に代わる新発想のシステムで、ディープサイクルバッテリーからDC12V/USB/AC100V電源を取り出して使うというものの、リチウム電池が使われるポータブル電源は衝撃や高温に弱く、夏場、車内などに置きっぱなしだと発熱のリスクもある。DC12V鉛蓄電池のディープサイクルバッテリーであればその心配がない。またコントロールボックスはDC12Vを変換させるユーツなので、電源を内臓していないため本体の劣化が少ない。アウトドアや、災害対策としても注目されているポータブル電源の新しい存在として、是非ともチェックしておきたいアイテムだ。



バッテリーバッグ

コントロールボックスと同デザインのバッテリーバッグ。マジックテープを留める位置を調整して様々なバッテリーサイズに対応。  
価格:3000円前後

### 追加アクセサリーも充実



バッテリーチャージャー

充放電を繰り返せるディープサイクルバッテリー。使用後はバッテリーチャージャーを使い自宅のAC電源で充電。  
価格:8000円前後



- ① 液晶画面で使用中のワット数、アンペア数・ボルト数、バッテリーの残量を確認できる。② AC/USBの他に、シガーソケット電源がある。一般的なポータブル電源と異なるポイント。③ 本体ケース背面に立て掛け用のスタンド付き。④ 車載用バッテリーから電源を取り出すことも可能。ただし車載用バッテリーは充電電流を繰り返すと、劣化が進むため、あくまでも緊急用として。

## PICK UP ITEMS #05 ELECTRICAL



本体側面の差し込み口にソケットを差し込み、ディープサイクルバッテリーと接続する。接続するコード長は1.5m。バッテリーは机下へ。



コントロールボックスの傷防止に役立つ専用ケースが付属。カラーはアウトドアシーンで映えるオリーブグリーン。本体重量は約2kg。

### ディープサイクルバッテリーとは?



繰り返し充電できるディープサイクルバッテリー。衝撃や高温に強く、マリンシーンで使用されていることが多い。写真はオプティマ(<http://www.gw-i.com>)のD900M(3万円前後)。